

Volume.044



徳山大学校友会誌

とくだい

発行所
徳山大学校友会

〒745-8566
山口県周南市学園台 徳山大学内
TEL&FAX 0834(28)7454

発行日
令和2年3月25日

発行責任者 國廣 憲

編集責任者 藤井 辰郎



上部の写真は昭和 46 年創立当時の大学全景です。大学も出来たばかりでもの寂しい感じですが、周南団地もまだまだ開発途中な様子がよく伺えます。中段の写真は大学グラウンド今昔です。現在は人口芝生が張って色鮮やかですが、右は 85 年当時新入生を歓迎する 6 月祭をグラウンドでファイヤーストームを囲んで行っている様子です。下段は最近の学食の様子です。場所は変わりませんが、内装はリニューアルされ、カウンターテーブルもあり、学生の憩いの場となっています。

令和元年度評議員会開催される

令和元年度評議員会が6月8日周南市内のホテルサンルー

ト徳山で開催されました。まず國廣会長より、「このたび徳山大学で高田新学長をお迎えして、新たなスタートを切りました。私も何度か高田学長とはお会いしていますが、非常に紳士的な方でかつ信念をお持ちの方と拝察しています。皆さんと共にこの新たな学長を歓迎し、大学を支援していきたいと考えます」と挨拶がありました。このあと平成30年度事業報告・決算報告、令和元年度事業計画・予算案について審議され、承認されました。また、本年度は評議員改選・役員改選について評議され、重任を含む72名の評議員が改選選出され承認を受けました。この後に藤井周南市長の講演、高田学長より大学の近況とこれらについてご報告をいただき、充実した評議員会となりました。その後、恒例の懇親会が行われ、今春卒業し、新評議員となった3名も改めて紹介をされ、笑い声の中、幅広い年代の同窓生として楽しい時間が送られました。



大学改革に対する提言書を提出する

令和元年5月28日國廣会長・廣瀬副会長が徳山大学を訪問し、徳山大学高田隆学長に「徳山大学改革の提言書」を提出しました。これまでも校友会では徳山大学に対しての現状改革のため9回にわたり方策を提言していききました。今般のものはこれまでのことをまとめた一区切りのものとなりました。

提言書では、まず目的として「地域に開かれた大学」をテーマに、学生の皆さんに「夢と希望を抱かせる大学」を目指すことが記載されています。これを実現するための具体的な提言として、「建学の精神・教育理念の重要性の再確認と学生の人間形成」「公立大学法人化への推進および公立化準備委員会（仮）の設置」「これからのあるべき学部学科について」「学生ニーズに則した学生生活支援の充実化および教育システムの質の向上」「スポーツ（運動部）強化と制度改革」「地域連携共同研究会による地域貢献」「大学院の設立準備」など多岐にわたる提言を行いました。提言書を受け取られた高田学長は「貴重な提言として、今後の大学改革の参考とさせていただきます」と話されました。

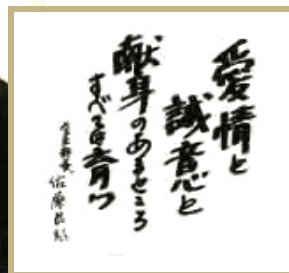


【懐かしのキャンパス】 - あのとそこ自分の青春があった - - 学生生活 -80 年代編



【学生食堂】

この当時は食券を手売りで販売していました。
とりライスなど大好評でした。



【佐原昌弘先生】
(学生部長)

当時の卒業アルバムに写真と色紙が
掲載されていました。



【大学下のバス停】

バスの雰囲気がとても懐かしいですね。



【校友会喫茶】



校友会では全品 100 円の喫茶店を現在の
10 号館で行っていました。写真右は現
在の校友会事務局藤田さんのアイドル時代？
の 1 枚、人気でした。



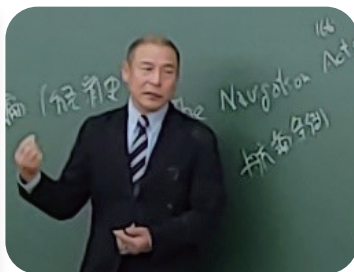
【城ヶ丘寮】

大学のすぐ下にあった城ヶ丘寮の寮祭の開会式
の様子。4.5 畳、風呂トイレ共同のこの寮に多く
の思い出が残されました。

とくだいインフォメーション

川瀬進先生 定年退職される

川瀬進先生は本学出身で昭和57年より定年退職の今日まで教鞭をとられました。令和2年1月21日、川瀬進教授の最終講義が「私とアダムスミス」の演題で行われました。今後の先生のご健勝を心よりお祈り申しあげます。

なでしこリーグへ!
東 菜月さん

東さんは4年間女子サッカー部で活躍、主将として全国大会進出の原動力にもなりました。今春卒業後、なでしこリーグ

1部の「伊賀FCくノ一三重」へ入団しプロの世界で新たなスタートを切ります。

今後の彼女の活躍にご声援をお送りください。



学童保育支援活動行っ

新型コロナウイルス感染拡大防止のため周南市内小中学校が一斉休校になったのを受け、3月5日より本学学生有志が市内の小中学生を預かる児童クラブ（学童保育）で支援をはじめました。

参加学生は1年から4年生までで、支援活動を行いたいとの学生側から自主的な声が上がって実現したもので、今後も市内複数の学校で活動が続ける予定です。

麦生田将史さんコメント

（経済学部ビジネス戦略学科3年）



小学校支援員の方と一緒に、缶蹴りなどの屋外の活動をサポートしました。

子供がすぐになついてくれて嬉しいと思った反面、子どもは学校にいることでいきいきとするのだと感じました。

今後も地域のために貢献したいです。

『放課後児童クラブ』

児童を放課後中心に預かる取り組み。

一斉休校実施に伴い、政府は児童クラブを1日のうちの日中8時間程度開所するよう求めています。

各クラブでは、受け入れ体制の中でスタッフ不足が生じており、対応が課題となっています。

周南市学生スポーツ連盟発足

3月10日、周南市学生スポーツ連盟が発足し、高田学長が初代学長に就任し本学で記者発表が行われました。

これは県内初の取り組みで周南市内の大学、高専、専門学校が横断的に支え合い、学生スポーツの活性化を図るものとします。

今回当初連盟へは本学と徳山高専2校が加盟し発足しました。

今後はスポーツ教室などの活性化も事業予定としています。記者発表で学生代表として挨拶をした塩田彩さん（経済学部ビジネス戦略学科3年女子サッカー部主将）は、「違う学校の人とスポーツを通じて高めあうことは良い刺激になると思います。地域の復興のために自分自身も努力していきたい」と話しました。



周南市学生スポーツ連盟
設立総会



写真上：学生代表参加 塩田さん
下：記者発表の様子（本学にて）



吉岡剛先生
ご逝去される

令和2年2月23日経済学部教授吉岡剛（よしおか・つよし）先生が肝硬変のため、ご逝去されました63歳でした。

吉岡先生は昭和54年4月に本学経済学部教員として赴任されました。授業では保健体育関連科目を担当されました。

また1年生対象の教育ゼミIでは佐原昌弘教授（現・周南市社会福祉協議会会長）の主導された「実践教育活動」を担当されていました。この授業は独居老人宅を訪ねひとり住まいの老人の方の課題を学生に聞き取りをさせて、どのように解決していくか実践するといった先進の内容の授業でした。現在大学で行っている「地域ゼミ」の前身となる形態の授業であり、その後長きにわたり担当しておられました。

吉岡先生は日本を代表する柔道家であり、全日本柔道連盟副会長を務めておられました。山下泰裕さん（84年ロサンゼルスオリンピック無差別級金メダル獲得・現全日本柔道連盟会長）を最後に破った方として、後世にその名を残されました。徳山大学でも柔道部の指導はもとより、地域スポーツの振興を目的に周南市内で「吉岡杯若鷹柔道大会」を毎年開催、中学生・高校生をはじめ指導者を含め、後進の育成に務められました。

先生は平成28年3月発行の校友会誌のインタビューの中で「大学教員としても総仕上げの時期となりますが、全日本柔道連盟特別委員長も務めており、東京オリンピックを成功させることが、徳山大学や柔道をしてきたことへ対する恩返しになるかと思えます。」と述べておられました。現在の大学においても草創期の徳山大学を知る、最後のおひとりの先生でいらつしやいました。

吉岡先生のご冥福を謹んでお祈り申し上げます。



徳山大学校友会支部連絡先

〔山口県周南支部〕

支部長 古谷 幸男（7期）
TEL (0834) 89-0303

〔岡山支部〕

支部長 山本 和重（16期）
TEL 090-4145-8842

〔関東支部〕

支部長 赤澤 浩文（8期）
TEL 090-1402-5687

〔大分支部〕

支部長 山本 輝彦（2期）
TEL 090-8830-0494

〔広島支部〕

支部長 坂口 静男（7期）
TEL (0824) 88-2312

〔沖縄支部〕

支部長 友利 和隆（6期）
TEL 090-9785-7706

〔山口県岩国支部〕

支部長 村尾 勝美（2期）
TEL (0827) 31-2353



おたよりコーナー - 校友会にお寄せいただいたお便りをご紹介します -

★ 5期 佐賀県在住 溝口 真さん

「懐かしのキャンパス」を見て涙がでました。

★ 6期 下松市在住 武村 佳朗さん

家族でいつも楽しみにしています。今後のご活躍をお祈りしています。

★ 13期 周南市在住 水津 輝昭さん

編集後記に校友会誌を web 版にする方向・・・とありましたが、我が家では家族で集まって、本誌を広げて楽しんでいます。経費や便利さを考えると web 版のほうがよいかもと思いますが、私の家のような楽しみ方もある事を知っていたけると幸いです。去年は家族でポプラ祭に出かけました。

★ 20期 広島市在住 岩崎 哲也さん

卒業して四半世紀、広島という近くにいながらなかなか母校に行くこともできていませんが、いつも楽しみに校友会誌が届くのを待っています。懐かしい記事から最新の状況まで把握できて感謝しています。またいつか学食で鳥ライス食べてみたいです。(笑)

これからも学校の繁栄と周南市の発展を楽しみに陰ながら応援しています。

編集作業大変だと思いますが、校友会誌届くのを楽しみに待っています！

ありがとうございました。



編集部より みなさま、お心のこもったメッセージいただき、ありがとうございました。

● 住所変更等について ●

お問い合わせ (0834)28-7454

校友会名簿について

お問い合わせ
Contact form



校友会では卒業生の皆様の住所変更等についてホームページから手続きができます。

徳山大学のホームページから「卒業生の皆様へ」のタブを押し、「徳山大学校友会」のバナーを押していただくと左上記のバナーがありますので、ここをクリックしてください。

ひとくぎりかなと思いつながら昭和63年の第10号から編集の協力をさせていただいています。徳山大学に行つて本当によかったと思う方、徳山大学を出たことを心から誇りに思っている方の思いをこの会誌の中で紡いでいきたいと思っています。

(中村 道陽)

編集後記・お礼

＝ 徳山大学50周年について ＝



2021 年は徳山大学が創立して 50 周年の年となります。

現在のところ、大学側の記念行事等は未定ですが、校友会ではこの記念すべき年について皆様の思い出のお話や写真、大学にこのようなことをしたら良いのではなどのご意見など募集します。事務局までどうぞ、お寄せください。

《プレゼントコーナー》～山口県産品～

① 澄川酒造 (萩)

東洋美人純米吟醸大辛口
今や山口県を代表するお酒のひとつです。

3名様



② 山縣本店 (周南)

焼酎2本セット (米・芋)
おなじみ周南市徳山の地元焼酎です。

3名様



③ 杉本利兵衛本店 (防府)

金銀竹輪セット
お酒にも合う食感が独特で人気のある竹輪です。

3名様



希望商品、氏名、年齢、住所、電話番号、会誌へのご意見・ご感想をお書き添えの上、

郵送の場合

〒745-8566

山口県周南市学園台 徳山大学校友会

Eメールの場合

kouyukai@tokuyama-u.ac.jp
ご送付ください。

※ご意見・ご感想は、誌上・HP上で掲載されることがありますので、予めご了承ください。

また、個人情報については、事務連絡のみに使用させていただきます。

ー編集スタッフー

企画広報部長 藤井辰郎 (25 期) 中村道陽 (11 期)
藤田美恵 (事務局)
印刷・デザイン: 東洋印刷 協力 徳山大学